

令和 8 (2026) 年度事業計画

1. 大学等に対する支援等の活動

<令和 8 年度事業計画案>

- 会員がそれぞれ個人または個人のグループの自由な発想と主体性のもとに、大学その他の文教関係機関や関係団体等の運営、援助、助言、教育研究、研修、普及啓発事業への参加、広報への協力その他の活動を行う。

➤ 令和 7 年度活動例

- ✓ 学校法人その他の公益法人等の役員、教職員として教育研究、経営等に従事。このうち一部の報酬については、本法人の収入として受け入れた。
- ✓ 学生の学修を支援するための学生寮を運営。

2. ニュースレター及び書籍の出版等

<令和 8 年度事業計画案>

- 会員間、倶楽部内外の情報共有・発信を目的として、会報（月 1 回程度目標）を発行する。
- 夢倶楽部出版部として、教育、学術、文化、スポーツに関する書籍を出版することを検討する。このため、出版部運営委員会などの組織を設ける。
- 上記の一環として、会報記事を中心とした書籍を刊行する。
- その他、機会を見て各種メディアを通じて意見を発信する。

➤ 令和 7 年度活動例

- ✓ 「会報」刊行（第 10 号（2025.4.11）～第 21 号（2026.3.1））。名称募集中。
- ✓ 講演、新聞、雑誌等を通じて発信。このうち一部の原稿料は、本法人の収入として受け入れた。

3. 研究会の開催

<令和 8 年度事業計画案>

- 月 1 回を目標に、オンラインで教育、学術、文化、スポーツに関する研究会を行う。

- 講師を招いての研究会や、テキストを指定して読書会的な研究会など、新たな方式も検討する。
- 26年度から担当理事を決めて運営する。

➤ 令和7年度実績

- ✓ 昨年度より1回多い9回のオンライン研究会を実施（6月、3月は社員総会のため、8月はオフ会のためお休み）。出席者数は昨年度とほぼ同様（10名程度）。
- ✓ 2025年は地方創生をテーマに進めることとしていたが、特に強い縛りは書けなかったものの、結果的にはかなりそれに近い線で推移することとなった。
 - ◇ 第25回（令和7年度第1回） 4/9 話題提供：見上会員（ユネスコ協会の活動による地方創生への可能性）
 - ◇ 第26回（第2回） 5/14 話題提供：田幡会員「教員養成カリキュラム改善の努力は報われるのか」
 - ◇ 第27回（第3回） 7/9 話題提供：布村会員「東京2020大会ジャーニーの記録と記憶」
 - ◇ 第28回（第4回） 9/10 話題提供：加茂光孝会員（「ろりぼっぶ学園」について）
 - ◇ 第29回（第5回） 10/8 話題提供：照井会員「地方小規模私学の課題 尚綱学院大学」
 - ◇ 第30回（第6回） 11/12 話題提供：村田会員「スイスを旅して考える」
 - ◇ 第31回（第7回） 12/10 話題提供：山本会員「『どん底』から普通の大学へ・・・そして22世紀へ」
 - ◇ 第32回（第8回） 1/14 話題提供：月岡会員「移り変わる虎ノ門～江戸から現代まで」
 - ◇ 第33回（第9回） 2/11 話題提供：吉田会員「先生になるなら親和」
- ✓ 2025年8月7日に、東京都中央区日本橋3-2-16 マスヤビルにおいて久々のオフ会を開催した。

4. 会員について

<令和8年度事業計画案>

- 当面積極的な勧誘は行わないが、希望者があればその都度判断する。

➤ 令和7年度実績

25年度臨時総会時点で、正会員15名（文部科学省OB7名、女性1名）、賛助会員（会

報送付先) 44 名。

5. 会費について

<令和 8 年度事業計画案>

- 講師を招いての研究会や書籍の出版など予算を伴う活動を行う場合には、これを機に会費を設定することを検討する。
- この場合、全員から一律に徴収するのは事務コストが大きいと思われるので、希望者のみ賛助会費として貢献していただく方法も考えられる。

6. 理事について

<令和 8 年度事業計画案>

- 運営の継続性や担当理事の追加等のため、理事（現在 3 名、定款上は 1～10 名）を増員する方向で検討する。

(参考) 令和 7(2025)年度事業計画

1. 大学等に対する支援等の活動

- 会員がそれぞれ個人または個人のグループの自由な発想と主体性のもとに、大学その他の文教関係機関や関係団体等の運営、援助、助言、研究、研修、普及啓発事業への参加、広報への協力その他の活動を行う。

2. ニュースレター及び書籍の出版等

- 会員間、倶楽部内外の情報共有・発信を目的として、会報（月 1 回程度目標）を発行する。
- 夢倶楽部出版部として、教育、学術、文化、スポーツに関する書籍を出版することを検討する。このため、出版部運営委員会などの組織を設ける。
- 夢倶楽部出版部として、ISBN を付した書籍を刊行できるようにする。
- その他、機会を見て各種メディアを通じて意見を発信する。

3. 研究会の開催

- 月 1 回を目標に、オンラインで教育、学術、文化、スポーツに関する研究会を行う。
- 講師を招いての研究会や、テキストを指定して読書会的な研究会など、新たな方式も検討する。
- 日本生涯教育学会生涯学習実践研究所次世代生涯学習社会研究会との共同研究会の実施を検討する。

4. 会員について

- 当面積極的な勧誘は行わないが、希望者があればその都度判断する。

5. 会費について

- 講師を招いての研究会や書籍の出版など予算を伴う活動を行う場合には、これを機に会費を設定することを検討する。
- この場合、全員から一律に徴収するのは事務コストが大きいと思われるので、希望者のみ賛助会費として貢献していただく方法も考えられる。

令和7年度会報発行報告

号数	発行日	主たる記事 1	主たる記事 2
10号	4/10	臨時総会報告、総会議事録	
11号	5/5	第25回研究会報告 発表者:見上会員(ユネスコ協会の活動による地方創生への可能性)	
12号	6/5	第26回研究会報告 発表者:田幡会員「教員養成カリキュラム改善の努力は報われるのか」	
13号	7/1	定例総会報告、総会議事録	【特別寄稿】寄稿者:、村田会員「行列のできる万博:大阪万博2025 訪問記」
14号	8/1	第27回研究会報告 発表者:布村会員「東京2020大会ジャーニーの記録と記憶」	
15号	9/1	オフ会開催報告	【特別寄稿】 寄稿者:村田会員「スイス旅紀行」
16号	10/1	第28回研究会報告 発表者:ロリポップ学園学園長加茂光孝氏(「ろりぽっが学園」について)	【特別寄稿】 寄稿者:村田会員「スイス旅紀行(続)」
17号	11/1	第29回研究会報告 発表者:照井会員「地方小規模私学の課題 尚綱学院大学」	【特別寄稿】 寄稿者:村田会員「フィンランド旅紀行」
18号	12/1	第30回研究会報告 発表者:村田会員「スイスを旅して考える」	【特別寄稿】 寄稿者:村田会員「第19回大学のグローバル戦略シンポジウム「大学経営における地域戦略～大学の財務基盤強化に向けて～」参加報告」
19号	1/1	第31回研究会 発表者:山本会員「『どん底』から普通の大学へ・・・そして22世紀へ」	
20号	2/1	第32回研究会報告 発表者:月岡会員「移り変わる虎ノ門～江戸から現代まで」	
21号	3/1	第33回研究会報告	<寄稿> 寄稿者:合田会員「大学考～大学入試をめぐる大学と社

	発表者:吉田会員「先生になるなら親和」	会の関係または大学の多様性について」
--	---------------------	--------------------

会報には、定例記事としてクラブ業務関連、今後の予定、会員活動紹介、会員消息、情報紹介/記事紹介、書評、新刊紹介、今月の一句、編集後記を掲載。

2026年度	収入		支出		
	事項	金額 (円)	事項	金額 (円)	
	高等教育関係機関謝金 2回×16,000円	32,000			
	文化教育関係財団謝金 1回×10,000円	10,000			
	原稿料 4回×10,476円	41,904			
	高等教育関係機関旅費 2回×24,000円	48,000	高等教育関係機関旅費 2回×24,000円	48,000	
	文化教育関係財団旅費 1回×1,520円	1,520	文化教育関係財団旅費	1,520	
			会議費等 2回×8,000円	16,000	
			通信費	20,000	
			登録事務費 (登録免許税を含む)	20,000	
			予備費	26,000	
	合計	133,424	合計	131,520	収支差額 1,904
	前年度繰越金	789,597	翌年度繰越金	791,501	繰越金増減 1,904